曽我物語　12冊　寄別13-17　09-001

国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-002
国立国会図書館

曽我物語巻第五

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-003

国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-004
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-005　国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-006
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-007
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-008
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-009

国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-010
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-011
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-012
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-013
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-014
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-015　国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-016
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-017
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-018
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-019
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-020　国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-021　国立国会図書館

曽我物語 12冊 寄別13-17 09-022
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-023
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-024　国立国会図書館

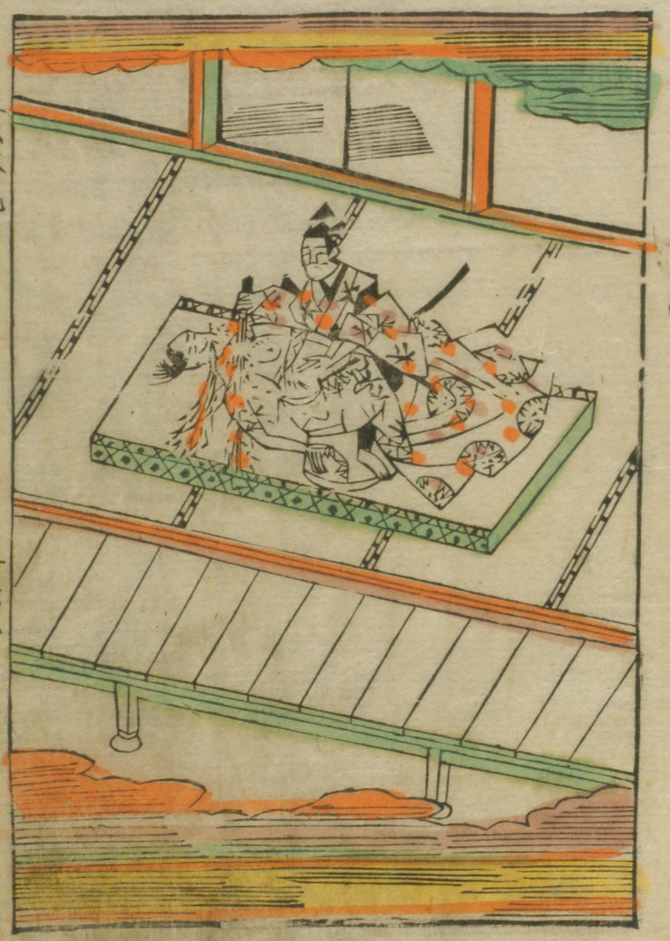
曽我物語　12冊　寄別13-17　09-025
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-026
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-027
国立国会図書館

ぞうたんにかうぶりけむかうにおくりものをしてかへさ
るゝけざしてあまりしひなりてとく様はひくぱんとはよかり
けれむざんなれ五郎はまうしけるはおかそへて一しほ
ろうのへぞうしうり
むまはかのぐじいかくさうなり
四十九日のとふらひなりけり
十郎ときむねくぢらくつまのくてしかり一期のごゝてをも
ろうたにてこそみはりんずるを志うしれおのそばうさ
ひたすらにめつきしかんぞうおんいとはちけねど
ハんどうろのなりしとたつでよいひゃしぜんや
もうひておかりなる
すけつねよどとめをさけるすら

きうくもさやうだいいへつれにハてはらのまつくりうら
てかんらうまかのりあられグ十郎はひたりつハまきうる
孫りそでめとまうしつるかでめハうくれたとうつての
かうりなるまぜいうんのそ武とぐめの事さハかゝうき
うらうかりいでぱかしかとゞめとまうしはかりんぞそ
五郎もちかゐりかくれとぬ武もいてわれへはつん
まいとはらるまゝまりわくくしてなぞうしおくいは海
かへしめつぞたしまうけそり孫へぱうびにとらん
じ孫よかそぞ俗のもうぶしもさとましてくときさ
まかどのりおもりまよ志げくさしなれはうちとみと
一州まなりあるまさくくてをそのかうりくへのかたつ
見うぶるひとりあれとうせと神しその孫へれはまざと



曽我物語　12冊　寄別13-17　09-029
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-030
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-031
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-032　国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-033
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-034

国立国会図書館

あらあひてまへにすゝくなまじどもゝ人をそへしあつさ
まなこもごされしがたなきこれ六でとみなもしおけ
れそありしうことまうぎまかうよさしかげ二いさは
づまのでゝくれさんでくはうおりじらやそひらんど
らしきうむひそうかどすとしおりてうちけまじ八郎
がうらとうけるが一ぱんでのこがひをどうられとさ
きてくひさこりぞくぱ三ぞんよもろうがのらふのちう
人々とうべの三郎十郎よりしつまむかひくびくりまれ
まのゆ中ゆび二つうちおとさまでくすげはがはきよ
のけぞんのうちよりしつま人々これハ二人なりくハ
なくはいうれさりだにひそとうれだきんべう
まゆしたりけりしくをみうりそをかゝるやさるはい

まのぞあづけりくかば五ぞんよ三河たうこのくふれおちう人
むかうれ中村郎ざしまでくひきこりぞくぱ五ぞんよ
ゆゑのくろやなぎなれりそ一とせ十郎よあひそう
きごびんさしまでひきこりぞくぱ六ぞんよ伊豆の
国れおちう人々まうれやぶた郎せあきうてぷ太郎がたち
をうきさうぐし二れうでうりおとさまでくひきこりぞく
七ぞんよもろうがの国のおちう人ぷおごしれ八郎をとしよせ
十郎ゆゑありしうしまでくひきこりぞくぱ八ぞんより
きれりくらのおちう人ぷんれ小太郎ゆきうじとなのり
ておぷ郎よわたりあひきぐしたゝかひるがぷひざをきう
まてくいおおりよみれぬげんよいづの国のおちう人ぷ二番
小室郎たりしとせ十郎よおりあひうるかいうどしろんぷくび

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-036　国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-037
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-038
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-039
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-040　国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-041　国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-042
国立国会図書館

五郎めしとらるゝ事

爰に五郎丸とて召つかはれけるは、もとは
京の小法師が叡山にすみしてけるが、十六にて師匠
のかたきを討。其後京のかゝりで東国に下り、一条の次郎忠頼
をたのみたりしに。たゞよりうたれて後
此君に参りしが、ならびなき大ぢからの者。
七十人が力を持たりける。日の装束は秋の野にて、見事なる
ど。肌へまとひしに、五郎が近付を見て入とて
うす衣引かづき、まぎれけるところに、五郎一めみてけれ
ば、女なりとおもひ、時に女房[illegible]
詞をかけずいでんとしけるを[illegible]
五郎丸と名乗りて[illegible]

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-044
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-045　国立国会図書館

か
12
60

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-046
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　09-047
国立国会図書館